

かわさき 議会の情報

No.207

発行日／平成29年7月31日
発行／川崎町議会
編集／議会広聴・広報委員会



「そば実ちゃん」

「ほら、みて!!」

20P

議会改革
活性化のために

14P

富中1年生
あーしたらこうしたら

12P

追跡質問
結果はどうなった

2P

一般質問
町民の声を議会に



町民の声を

議会に

6月
会議

町政を問う



高橋 義則 議員 10p

- (1) 冬場の道路安全対策を
- (2) 今後の農業政策は



的場 要 議員 7p

- (1) 小中学生の運動環境整備
- (2) B & G海洋センター
観客席を



佐藤 新一郎 議員 11p

- (1) 旧小学校活用事業の
契約は
- (2) 統廃合の考えは

眞幡 善次 議員 9p

- (1) 起業促進と企業誘致は
- (2) 釜房湖に桜並木を

2期目中間試験
町長 小山修作

75点

神崎 安弘 議員 8p

- (1) まちづくりの自己評価は
- (2) 組織づくりは町長が



佐藤 昭光 議員 4p

- (1) 18・19歳投票の結果
- (2) 税率率最下位脱出の
手立ては
- (3) 国保税県単位化への
備えは



石野 博之 議員 5p

- (1) 介護サービスの
将来ビジョンは



佐藤 達也 議員 6p

- (1) 児童と町民に感動と
活躍の場を
- (2) 林業(森)にひかりを

※一般質問は町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。6月会議では8人の議員が16件の質問を行い、2日間にはわたり活発な議論を展開しました。

※一般質問：3・6・9・12月の会議で行われ、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する疑問を質すことです。質問時間は30分以内で答弁は含まれません。質問は何回でも可能です。



佐藤 昭光 議員

18・19歳投票率の結果は

意識が高く、投票率60%に

問

答

問 平成28年7月10日執行の参議院選挙から、初めて18・19歳が有権者となりました。総務省の全国240万人全員調査では、投票率が46%となりました。そこで、町内はどうだったのか伺います。

答 選挙管理委員会 委員長
当町の18・19歳の投票率は60%と、国・県の平均と比べて高い数値となりました。家族と一緒に投票に訪れる人が目立ち、必要性を十分に認識して積極的に投票していたと思います。

問 一方で、20代から40代にかけて下がり、50代から上昇しています。また選挙区が大きくなるほど投票率が下がる傾向が見られます。投票率を等しく上げる手立てを伺います。

答 選挙管理委員会 書記長
期日前投票や、子ども同伴でも投票できることなどをPRしていきます。



▲18・19歳に投票を呼びかけるパンフ・冊子

問

税収最下位脱出の見通しは

答

問 税収最下位が続き、市町村で最下位が続いています。28年度の徴収率と、最下位脱出への見通しを伺います。

答 町長
28年度徴収率は一般町税で90・4%、国保税で66・2%と、過去最高の伸びです。滞納額が大きく、全体の徴収率を押し下げているのが、県平均に近づいています。



▲滞納一掃を呼びかけるパンフ

問 ※不納欠損は過去5年で1億2500万円。年平均2500万円になります。職員らの徴収努力が求められていますか。

答 税務課長
5か年計画の最終30年度には、徴収率92・94%の県平均と並ぶ計画に向けて努力していきます。

その他の質問事項

問

滞納、県単位化に支障は

答

国保税は引き続き町徴収

※不納欠損：滞納分の徴収金が徴収できなくなったとして、その調定の金額を消滅させることです。

問

介護の将来ビジョンを

答

第7期計画にいかす

人口減少・高齢化が進み、認定者が増え保険加入者が減少していくようです。保険料、施設入所、在宅ヘルパー確保など町民が将来も安心できる介護保険制度と過渡期を踏まえたビジョンを示すことが求められています。

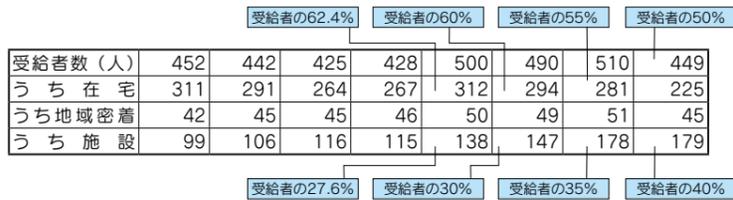
問 介護サービスの多様化と質の向上。介護従事者の育成や新技術導入の支援。そして介護基金の積み増しが必要と考えます。

答 町長
被保険者数は、平成47年見込み、5463人で662人減少。認定者は、約100人増の638人。施設利用者数は、63人増の178人、在宅サービス利用者は、14人増の281人になる見込みです。

▲認定者数の推移について

介護保険事業計画における計画と実績、および今後の予測は下記のとおりです。

計画年度	第5期 2014 H26	第6期 2015 H27	第6期 2016 H28	第7期 2017 H29	第9期 2020 H32	第9期 2025 H37	第12期 2035 H47	第16期 2045 H57
要支援1	33	34	39	42	46	43	26	23
要支援2	76	77	80	86	94	91	78	69
要介護1	91	100	108	114	121	113	96	84
要介護2	115	116	114	120	131	130	152	134
要介護3	100	122	140	154	168	169	127	111
要介護4	64	57	49	43	48	48	108	95
要介護5	43	35	27	18	17	19	52	46
計(計画値)	522	541	557	577	625	613	638	562
実績数	518	525	528	529				
計画値-実績数	△4	△16	△29	△48				
高齢人口 (65才以上)	2,910	3,002	3,029	3,035	3,164	3,218	3,321	2,925
2号被保険者 (40才以上65以下)	3,357	3,220	3,107	3,090	2,790	2,533	2,142	1,777
加入者数 (第1号被保険者 (65才以上) +第2号被保険者)	6,267	6,222	6,136	6,125	5,954	5,751	5,463	4,702
総人口(町全体)	9,373	9,185	8,993	8,977	8,617	7,947	7,382	6,212
認定率	0.178	0.1749	0.1743	0.173	0.1975	0.1905	0.1921	0.19214



※介護保険事業計画期間：3年
※H29は4月末日現在
※H47以降の予測値は、現在(H29年度)の要支援、要介護の比率を基に、高齢人口(65歳以上)に乗じて算出しています。また、第7期・9期数値は、第6期計画策定時の数値です。

問

過渡期における施設の収容数およびヘルパーなど介護事業者の確保は。

答 町長
入所施設を増やすことは保険料の上昇へと連動するので慎重に検討していきます。従事者確保は、4Kと言われるような労働環境のイメージを払拭して、魅力ある職業として選ばれるようにしていきたいと考えます。

問

新規参入、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護などニーズに合った対応が求められます。高齢者介護保険事業の第7期計画に盛り込む考えはありますか。

答 町長
利用者が求めているものや、今ある施設の中でできるのかも含めて、意見を踏まえて調査します。計画のなかでいかなければならないと思います。



石野 博之 議員



佐藤 達也 議員

問 児童・町民に活躍の場を

答 時間や手配に大きな負担

問 5月に町内小学校で運動会が開催されました。児童の一生懸命な姿に感動しました。

答 児童数の減少で様々な場面での競争機会が少なくなっています。そこで町内小学校すべて参加の大運動会隔年開催を提案します。見解を伺います。

答 教育長 児童数減少は、様々な場面でデメリットがあることは確かですが、楽しみや健康増進に努め、地域との協力などを養うことが目的です。下準備や合同練習に時間を要すること

が明らかですので、実施は難しい状況です。

問 運動会の話から、町民大会について意見を伺う機会がありました。その方は、「当日の活気あふれる様子は忘れられません。」と話をしていました。参加する人、見学する人が楽しいと思える催しです。大会開催の見解を伺います。

答 町長 スポーツ活動は、やる人、みる人、支える人で成り立っていると認めます。参加者の募集、練習時間の確保、お世話役の負担など支える側は大変だという認識です。これに代わるものとして、町では、行政区スポーツ活動の補助金を交付しています。



▲川崎小運動会



▲町の森林整備を

問

森にひかりを

答

4つの取組みを検討

問 林業行政は、予算不足などから、森と同じく「ひかり」が当たってきませんでした。国は、地球温暖化対策として市町村の森林整備を支援する「森林環境

答 町長 国では平成30年度税制改正で結論を得るとされています。* 施業や所有に関し、所有者への取組み要請強化・町自ら実施・町が代行・寄付に関する管理強化が取組みとして挙げられますので、対応を検討します。

* 施業：目的とする森林を育成するために行う造林、保育、伐採等の一連の森林に対する人為的行為を実施することです。

問

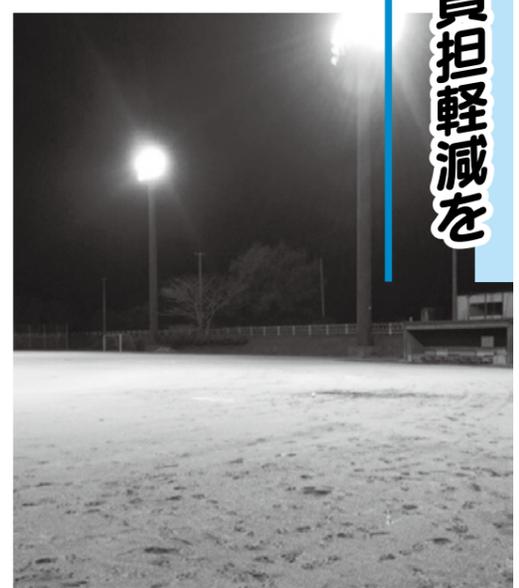
ナイター使用料の負担軽減を

答

改めて検討する

問 小中学生のスポーツ活動において、総合グラウンドのナイターを利用した場合、B&G海洋センター施設利用と同様な環境整備も必要ではないかと考えます。

答 教育長 施設使用料は100%免除ですが、照明使用料は条例に基づく料金を徴収しています。県教委からの指導により、夜間の練習を助長させるような使用料の免除はできないものと考えています。



▲総合グラウンドナイター設備

問 H25年3月の質問では「今後において社会体育の拠点施設であることから、利用状況など観戦や応援のスペース確保についてどのような方法がよいか調査したい」との答弁でした。調査の経過と状況を伺います。

問 当町には残念ながら観覧席のある体育館は一つもない状況です。新しく建設するよりも改修した方が、財政的にも有利なのではないかと思いますが。

答 教育長 海洋センターが建設されたのは昭和59年で築30年以上経過していますので、今後施設の修繕に要する費用がかさむことが懸念されています。費用対効果から考えると、観覧席整備には慎重にならざるを得ないところです。

答 町長 武道場の上を抜いて、そこからアリーナを見られるようなものであれば財源的にも可能性があると考えられます。

議員 要 場的

答 町長 いろいろ説明を受けると、なるほどというところもあります。これはもう少し今までの流れをくみながら、改めて検討していきます。

問 アリーナに観覧席を

答 費用対効果から慎重に



▲改修された蔵王町海洋センター



神崎 安弘 議員

問 まちづくりの自己評価は

答 道半ばで75点

問 町長は現在2期目で6年を迎えようとしています。以下の点について見解を伺います。

答 町長 行政改革と子育て支援は、町長などの給料カット財源を給食費、医療費の一部無料化に充当しました。企業誘致・雇用の確保、病院の経営改善、産業振興は、可能性を視野に進めています。自己評価は2期目道半ばで75点。

問 今後取り組むべき課題はありますか。

答 町長 人口減少と少子化だと思えます。全国的な課題とは思いますが、雇用対策など社会情勢および地域実情を注視しながら抑制に努めていきます。

問 これからのまちづくりをどのように進めていきますか。

答 町長 町民の声を聴き、方向性を相談しながら「みんなが主役のまちづくり」を目指したいと考えています。



▲まちづくり懇談会

問 まちづくり懇談会で、すべての意見は聴き取りたいと思えます。アンケートなどを実施してはいかがですか。

答 町長 昨年から実施し、町民の意見を共有するため各課長を同席させました。今後、回数を重ねることに内容も検討していきたいと考えています。

問 組織づくりは町長が

答 専門分野からの選出も

問 今後の進め方は。

答 町長 プロローグや玉ねぎの産地化を図るべく、JAに園芸振興普及会が設立されました。県やJAと連携し支援をいただきながら取り組むたいと考えています。

問 組織づくりは、町長自らリーダーシップを取り、進めるべきですか。

答 町長 分野に精通した人を選出し、進めていきたいと考えています。また、自らすることも検討したいと考えています。

問 起業促進と企業誘致の差は

答 取り扱いに相違はない

問 起業促進を進めているなかで、町内で企業を設立した場合と町外より企業誘致した場合の補助金や助成金の取り扱いにおいて紛らわしい点が見受けられます。違いがないのか伺います。

答 町長 企業誘致で町内に事業所を新設する場合と、町内で新たに事業所を新設する場合がありま。条例の規定において助成金等の取り扱いに相違が生まれることはありません。



▲地方創生拠点「SPRING」

問 地方創生拠点として「川崎コワーキングビレッジ」ができ、活動しています。町として今後起業促進、そして企業誘致にどのような取り組みをいくのか伺います。

答 町長 新しい事業を誘致することは大切です。今ある企業に対してどのような支援ができるかも大切です。町に根付いてくれた企業を大切にしながら、起業促進・企業誘致も積極的に進めていきます。

問 協力体制が必要

答 各方面と意見交換を

問 自然豊かな釜房湖周辺の桜並木や紅葉を活かした、まちづくりの推進が大切です。現在も有志による桜並木の保護活動は積極的に行われていますが、現在の状況を伺います。

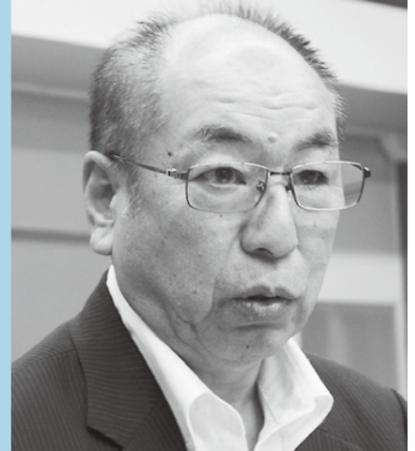
答 町長 桜の保護は、ダム湖畔はダム管理所、公園は公園管理センターが行っています。沿道の桜に関しては毎年予算を取り、森林組合に委託して下刈りやテングス病対策を行っています。

問 公園管理事務所やダム管理所との協力体制が必要です。ダム管理所長も今年4月に新しく就任したようです。町から積極的に働きかけたらどうですか。

答 町長 理解が得られるよう管理事務所の方々と意見交換をしたいと思っています。



▲釜房湖 桜並木道



眞幡 善次 議員



佐藤 新一郎 議員

問 旧小学校活用事業の契約内容を伺います。

答 町長 4つの旧小学校は、それぞれ月5万円で平成29年4月21日から平成34年3月末までの5年契約です。現状渡しを条件に、改修補修維持管理は事業者負担の契約となっています。

問 他団体は今後も使用できるのですか。

答 地域振興課長 事業者の了解を得れば使用することが可能ですが、自由に使えるようになることもあります。

問 旧川内小体育館の半面に傷があります。修理は誰がやるのですか。

答 地域振興課長 半面使用について、説明会・報告会での違いはありますか。

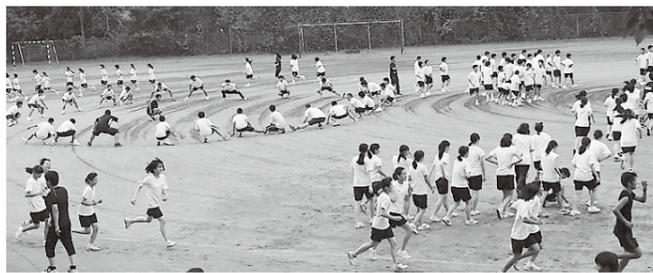
答 地域振興課長 事業者に原状回復していただきます。使用内容の変更はありません。



▲川内太鼓の練習風景

問 小・中学校の統廃合は

答 今年度中に方向性を



▲レイクサイドマラソン・駅伝大会に向けて

問 保護者や生徒にアンケートを取ってはいかがですか。

答 教育長 検討します。

答 教育長 今後も少子化が学校運営に大きく影響を及ぼします。今年度中に、ある程度方向性を示します。

問 統廃合時の児童数と比較すると163人減となっています。また、中学校では希望する部活に入るため、ほかの学校へ転入する生徒もいます。今後の統廃合について考えを伺います。

答 教育長 平成24年度に、少子化等の影響により小学校3校・分校1校が統合され、現在小学校4校・中学校2校で564人となっています。次の点について伺います。

問 地区の人は使えないのか

答 了解が必要

問 気温表示計の設置を

答 安全対策で県に要望

問 事故対策から、国道286号ダムから碁石間の下り坂の事故防止のため、気温表示計の設置が必要と思いますが、県への要望をする考えがあるのか伺います。

答 町長 冬場はたびたびスリップ事故がありますので、気温表示計の設置を含め安全対策について県に要望していきます。

問 気温表示計は下り坂の途中に設置されています。重要なことは事前に認識してもらうことです。設置箇所の見直しも含めて要望する考えはありますか。

答 町長 下り坂にあっても遅いと思います。ドライバーの方に早目に気付いてもらうことが大切だと思います。その点を含めて要望します。



▲ふたつ橋手前の気温表示計

問 水田従事者および担い手が離農した場合、担い手確保をどう考えていますか。

答 町長 地域農業の今後の担い手を誰にするのか、どのように地域の農地を守っていくのか、合意形成を図りながら担い手を盛り立てていく対策が必要です。

問 農業後継者の育成をどのように考えていますか。

答 町長 現在、認定農業者の有志と農協、町で受け手の確保、後継者の育成を含め話し合いを行っています。農業所得を向上させ経営的にも自立できるような情報を発信し、行政区長と連携しながら進めていきます。

問 未整理地を耕作してもらう人に、町で助成をする考えがあるのか伺います。

答 農林課長 未整理地の借り手についての助成は現在考えていませんが、担い手に対して集積になった場合、10アール単位で助成をしています。



▲美田継承は



佐藤 新一郎 議員

問 拡幅工事その後は

答 何度でも要望していく

問 昨年、一昨年と「佐
山上石丸線經由秋保温
泉への県道拡幅工事を
せよ」と質問しました。
町長は要望書を提出す
ると答弁しましたが、
その後の経過を伺いま
す。



▲狭い橋、狭い道

答 町長
今年2月の県南サ
ミットで知事に実情を
話し要望書を提出しま
した。
今後調査し安全確認
していくので、理解し
ていただきたいの答
えでした。
これからも知事に要
望していきます。

税軽減 2年間延長

国の税制改正による地方税法等の改正に基づき、川崎町税条例の一部が改正されました。

川崎町税条例の一部を改正する条例の専決処分

平成28年度末で期限切れを迎えたいわゆるグリーン化特例（排出ガス性能および燃費性能の優れた車両について、翌年度分の税額を軽減する制度）に関して、適用要件を見直した上で2年間延長されます。

取得期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日
軽減年度 平成30年度、平成31年度（取得の翌年度分のみ）

区分	軽減率
●電気自動車	75%軽減
●天然ガス自動車 (H30規制適合又はポスト新長期規制からNOx10%低減)	
2020年度基準+30%達成	50%軽減
2020年度基準+10%達成	25%軽減

※電気自動車を除き、いずれも平成17年排出ガス基準75%低減達成車（★★★★）または平成30年排出ガス基準50%低減達成車に限りです。

5月会議

5月会議は5月16日に開きました。
町から提案された議案1件、および報告2件
を審議し、原案どおり可決しました。

追跡質問

以前の質問確認したい!!

問 クレジット決済導入の効果は

答 寄付者の86%が利用

問 導入前後の寄付件
数は、どのように変化
しましたか。また、割
合はどのようになっ
ているのか伺います。
答 地域振興課長
昨年10月まで104
件、クレジットカード決
済導入した11月から3月
までは170件となっ
ています。クレジット決
済については147件、
86%となっています。



沼田 長一 議員



▲返礼品の一例

昨年12月会議で「ふ
るさと納税」の寄付額
を増やす方策について
質問しました。
クレジット決済導入
後の状況について伺い
ます。

問 昨年の6月会議
で、ダム湖周辺の桜並
木が、補植を待ってい
るという趣旨の質問を
しました。その際、町
長は「枯れたものも多
いが補植は考えていな
い」と回答しています。
1年経過して考えは変
わりませんか。



佐藤 昭光 議員

答 町長
予算や職員を動かす
ということもあり、慎
重に検討しなければな
りませんので「早速や
りましょう」とは言え
ません。昨年と同じ回
答になります。



▲ダム移転者が植えた「ヤマザクラ」

問 同じ回答というの
は残念です。民間の協
力を仰げば、そんなに
資金を要するものでは
ないと思いますが。
答 町長
現段階で新しいこと
はできません。

答

早速に、とは言えない

問

考えは変わりませんか



さとう じゅんき 佐藤 駿輝 議長

富岡中学校では、議会や町など行政がどのように機能しているかを見学・体験することによって理解を深め、関心を高めるための校外学習を行っています。
5月10日、1年生が町議会を訪れ、町の取り組みについて学習しました。



さとう ゆきや 佐藤 夢稀耶 議員

さやま こつと 佐山 虎徹 議員



さとう ゆうや 佐藤 佑哉 議員

にしつか かりん 西塚 果凜 議員



やまし そら 山路 空 議員



よしだ あるあ 吉田 あるあ 議員



さとう まなり 佐藤 真菜利 議員



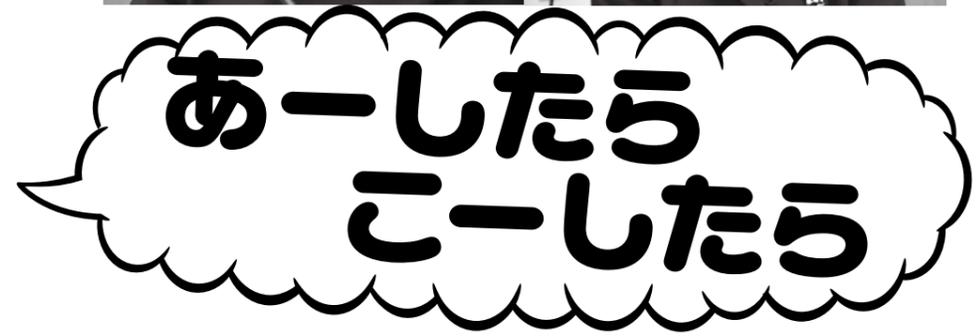
さとう かずき 佐藤 和樹 議員



こくぶん つきな 國分 月菜 議員



うえた りん 植田 凜 議員



校外学習 私たちの提案

校外学習

町民バスの増便

登下校に町民バスを利用していますが、土日も活動があるのと、運行していただくと大変助かります。また、町民の通院や買い物を考えれば運行を増やせないでしょうか。

吉田 あるあさん

交流をしては

インターネットで川崎町のことを調べようとすると神奈川県川崎市が出てきます。川崎町のことをより多くの人に知ってもらおうのはいかがでしょうか。

國分 月菜さん

町のPRを

議長佐藤 駿輝くん町のCMやホームページを作り、PRすると良いと思います。

自然を生かした企画を

川崎町の自然を生かしたツアーをしてみたいかがでしょうか。また、セントメリースキー場で冬以外にもイベントをしてみたいかがでしょうか。

山路 空くん

街路灯を増やして

街灯が少なく、夜道は暗く危険なので、安全のために増やしていただきたいです。

佐藤 夢稀耶くん

教えて閉校学校の活用

町内には閉校になった4校があります。教室や体育館があり、状態も良く、利用が可能です。活用予定を教えてください。

佐山 虎徹くん

季節のイベント開催を

秋には、町民が協力して町内を豊かにするよう企画があります。ほかの季節にもイベントを開催してみたいかがでしょうか。

植田 凜さん

獣の処分・活用は

町には熊・イノシシのような野生動物がいますが、害獣指定になっている動物もいます。

佐藤 真菜利さん

通学路の点検と安全確保を

通学路の段差を無くしていただきたいです。

佐藤 佑哉くん

佐藤 和樹くん

交流会を増やして

支倉台のコンビ二近くの坂に、腐った木が垂れ下がり、倒れてきそうなので危険です。安全に登下校できるように撤去してください。

吉田 あるあさん

西塚 果凜さん



富岡中学校1年生 校外学習

6月議会

支援・負担軽減 整備拡充・助成 11件審議

全て可決



そば実ちゃん

6月会議は、6月6日から9日までの会期で開きました。
町から提案された、条例改正案6件、補正予算案3件、人事の諮問1件。議員発議案1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

条例 子育て支援を充実

提案理由
国の幼児教育の段階的無償化による法改正に対して、幼稚園授業料等徴収条例とかわさきこども園設置条例を一部改正するものです。

内容
①ひとり親世帯等の負担軽減
②町民税非課税世帯の2人目以降の半額負担を無償にする改正です。

条例 実績に応じて特別職非常勤の報酬及び費用弁償条例改正

提案理由
農業委員と農地利用最適化推進委員の交付金を実績に応じて支給できるように条例を改正するものです。

条例 保証人2人 犬猫飼育を禁止

提案理由
北川原山町営住宅建設・入居にともなう条例改正です。連帯保証人を2人に増やし、犬猫の飼育を禁止するものです。

Q&A

佐藤(達)議員
問「29年4月1日以降に建設された住宅に限り適用」とした理由は。建設水道課長
答犬猫を現在飼っている人に配慮しました。



▲かわさきこども園運動会

大沼議員
問活動内容と記録はどのようになっていますか。
答農業委員会事務局長 遊休農地の点検をするものです。また、記録も提出されています。今後は国にも提出し、審査を受けることになっていきます。



▲新たに建設された北川原山町営住宅

条例 改正による 情報公開の範囲は

提案理由
個人情報保護法の改正にともない、町条例を一部改正するものです。

Q&A

遠藤議員
問情報公開の問題はないですか。
答問題はありません。総務課長

条例 不妊治療の 夫婦負担を軽減

提案理由
不妊治療を受ける夫婦の負担を軽減するため助成事業に300万円。県の制度で足りない分を補完するものです。1回の治療に月10万円限度に、県要綱による支援の不足分を助成します。



補正 オールシーズンゲレンデ整備 1,600万円

▲セントメリースキー場スターライトゲレンデ

提案理由
起業・移住支援の活動拠点の運営委託に地方創生推進交付金の採択にともなって、事業拡充に120万円支給するものです。

補正 SPRING 活動に助成金

提案理由
コミュニティ助成金を活用して川内太鼓の活動に220万円を助成するものです。



▲川内太鼓保存会

「免税軽油制度の継続」を求める意見書

これまで冬季観光産業の重要な柱であるスキー場産業の発展に貢献してきた免税軽油制度が、平成30年3月末で廃止される状況にあります。

免税軽油制度は、本来、道路を走らない機械に使う軽油について、軽油引取税(1リットルあたり32円10銭)を免税する制度で、船舶、鉄道、農林、漁業、製造業など幅広い事業の動力源の用途などに認められてきたものであります。

スキー場産業では、索道事業者が使うゲレンデ整備車、降雪機などに使う軽油が免税となっており、この制度がなくなれば索道事業者は大きな負担増を強いられ、スキー場の経営維持が困難となるとともに、地域経済にも計り知れない悪影響を与えることとなります。

よって、冬季観光産業の重要な柱であるスキー場産業の経営維持を図り、地元雇用者と地域経済の安定およびウィンタースポーツの発展のために、免税軽油制度の継続を強く求めるものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。
平成29年6月9日
宮城県川崎町議会

提出先
内閣総理大臣 殿
総務大臣 殿
国土交通大臣 殿
衆議院議長 殿
参議院議長 殿

議発案採択

人権擁護委員



まかべ のりこ
真壁 雅子 さん
(碁石)

委員の推薦に同意しました。
任期は、平成29年10月1日から平成32年9月30日までの3年間。

総務民生委員会 報告

調査日 5月18日

調査事項① 公用車・動産の管理状況 文書化で明確に

【調査結果概要】

公用車の総数は87台で、各課直接管理41台、消防各分団配備29台、総務課管理17台の状況です。維持管理業務で集約化し、相互利用で

稼働率が向上しています。取得から10年経過している車両は、全体の5割を超えています

ので、今後の購入は軽自動車・HV車・EV車*を検討しています。動産50万円以上の物

品は、年度末数量を台帳システムで管理しています。廃棄処分は耐用年数を考慮し、慎重

に対応し適正管理を行っています。*HV車(ハイブリット車)・EV車(電気自動車)



▲むだのない維持管理を

【委員会意見】

公用車と動産は、適正な管理取扱いに努め、買い替えマニュアルなどを作成し文書化で明確にすることを望みます。それぞれの経過年数を年度末管理で台帳に記載し、廃車や廃棄処分による購入が適正なのか判断する目

安となるようにしてください。また、公用車の買い替えに際し、単に廃車手続きで資産価値を無駄にしないよう十分考慮し、公売することなども検討してください。

調査事項② 外郭団体への補助金交付状況 活動展開で額の決定を

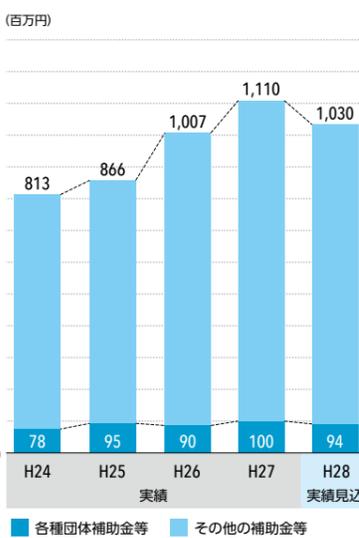
【調査結果概要】

補助交付額は、平成28年度実績見込み額で総額9375万円を49団体へ交付しています。目的別では農林業費と商工費関係で全体の62・9%を占め、5896万円となつて

います。補助交付額は34団体が横ばいで推移し、7団体が上昇、8団体が低下しています。廃止団体1、臨時補助2件という内訳となっています。

活動状況を見定めながら、適正に対応しています。

補助金等の区分別内訳の推移 (百万円)



各種団体補助金は、負担金補助金交付金全体の9%を占め、平成25年度から毎年約9000万円を超えています。補助交付金を受けながらも、実績に反映されていない団体も見受けられます。このことから今後は、交付団

体の活動内容を十分確認し、有効的かつ実績が見えるように指導や協議を行いながら、金額の妥当性を検討してください。また、今後の活動展開を考慮しながら、交付額決定を検討してください。

産業建設教育委員会 報告

調査日 5月19日

調査事項① 園芸作物の振興 産地化を目指し育成を

【調査結果概要】

園芸作物振興のため、生産者・農協・大河南改良普及センター・町等が連携し、当町において適応性のある、玉ねぎとブロッコリーの

栽培の作付けを推進しています。玉ねぎ栽培の振興理由は、ほ場は排水がいい、鳥獣の被害を受けにくいなどです。ブロッコリー栽培の振興理由は、扱いやすい土

壌で、水稲と作業競合しないなどとなっています。町では園芸特産振興事業補助金として、栽培に係る経費の一部を補助しています。



▲今後に期待が持てる玉ねぎ栽培

【委員会意見】

玉ねぎとブロッコリーの栽培地ほ場では、関係者との連携による生産拡大に向けた取り組みも見られました。今後は両作物の産地化としての位置付けを目指していくため、生産安定化が図られるよう、総合的な支援によ

る活力のある営農経営体の育成に取り組んでください。また、通気性と排水性の良い土に恵まれています。収穫量と品質を確保するためには、安定した水供給の確保が重要です。渇水時における水利用・水管理の検討をしてください。

調査事項② 文化財の状況 理解と保護意識の高揚を

【調査結果概要】

当町の指定文化財は、国指定1件、県指定1件、町指定では3件の天然記念物と8件の有形文化財(建造物)、合わせて13件の指定文化財があり

ます。また、2件(19棟)の国登録有形文化財(建造物)があります。これら有形文化財のほか町内には数多く点在している遺跡も含め維持管理を行っています。特に文化財のなかの

記念物として5件の城跡と5件の館跡があり、説明板や標柱の設置などを行い保護と啓蒙に努めています。



▲町の宝を後世に

【委員会意見】

前川本城(中ノ内城)跡は地区住民の協力により、刈り払いや清掃が行われ、環境整備が図られていました。文化財は地域の歴史や文化等への正しい理解のために欠くことのできないもので、これらの保護と活用は、優れた文化の創造と発展

の基礎となるものです。今後も文化財に対する理解・啓発に努め、その価値の認識と保護意識の高揚に努めてください。また、文化財のなかには民間所有のものもあることから、所有者・地区・関係機関との連絡を密にしながら保護にあたり、後世に伝えていくよう望みます。

議会活性化を積極的に



6月28日から30日までの3日間、議員12人が議会活性化において先進的な取り組みを行っている、熊本県御船町議会、福岡県大刀洗町議会、福岡県小竹町議会を視察しました。

各議員から議長あてに報告書が提出されていますが、ここではその一部を紹介します。

町民参加のモニター制度導入

熊本県御船町議会

佐藤(昭)議員

活動を活発に行っているが、参加数増加などの成果がともなわぬ実情があります。

神崎議員

議会モニター選任方法は、年齢・性別・職種に偏りがなく必要です。

高橋議員

町民とともに活動し、さらに改革する議論が必要です。



▲地震で被災した熊本城

の場議員

条例の再認識・勉強会が必要であると思います。

視察研修 議員定数 基本条例 意見交換活動

意見交換活動で活性化を

福岡県大刀洗町議会

沼田議員

町民からの提案を取り込むために、聴く仕掛けが必要だと思います。

佐藤(達)議員

意見交換会の参加募集は、議員自らい小グループでの実施を検討する必要があります。

的場議員

若い世代の声が届きづらい環境にあるので、幅広い世代との意見交換が必要だと考えます。

眞幡議員

常に町民とともにある議会を目指します。



人口減少により定数削減

福岡県小竹町議会

神崎議員

※二元代表制を考えると、削減による議会の弱体化が懸念されます。

石野議員

議員定数削減・報酬削減するのは、議会改革ではないと感じました。

眞幡議員

議会も高齢化しているので、若い世代が担い手となるように対応することが必要ではないかと思えます。

沼田議員

若い優秀な方が立候補できる環境づくりが課題で、確保する展開が必要と考えます。

佐藤(新)議員

自ら身を削り、資質向上に努めたいと思えます。

佐藤(達)議員

議会に対する意見を多方面から収集する必要があります。

高橋議員

若い議員育成にも課題があると感じます。

大沼議員

九州地区の傾向として議員のなり手不足は深刻な状況と感じました。

佐藤(昭)議員

若者が立候補できにくく、苦しむ姿を目の当たりにしました。

課題整理し 取組実施

※二元代表制：住民が直接選挙で首長(町長)と議員を選ぶ制度です。地方自治体(町)では首長と議会が対等な関係にあります。首長は議案などを議会に出す権限を持ち、議会は議決などで首長の行政運営を監視することです。

今から なじよする?

町PTA家庭バレーボール大会に初めて参加したのは、娘が小学校5年生のときでした。その2年後、今大会で同じチームとなった先輩と一緒に練習しない」とクラブチームに誘われました。

始めたころは、うまくスパイクが打てなくて、試行錯誤しているうちに、ビニールバレーにはまってしまいました。(考えることは、バレーだけみたいな)。今大会、川崎校・岩沼学園の先生方の協力で2チーム出場し、優



おいき たくやさん
追木 卓也さん
(立野)

「初優勝!きっかけは…」

勝できたことをうれしく思います。練習時から頼りない私に、声をかけ続けてくれた頼れるメンパーとの最高の思い出ができました。練習を通じて、先生方とのコミュニケーションがとれますので、多くの保護者に参加してほしいと思います。今、夢中になれることがあることに幸せを感じます。



▲チームプレーが大事

幅広い世代の皆さんと交流を



おかだ みかさん
岡田 美花さん
(本荒町)

私は昨年2月に結婚して、岡田家の一員になりました。これまで花火大会や盆踊り、ペタンク大会等に参加しましたが、皆さんに温かく迎えていただき楽しい時間を過ごすことができました。

懇親会でも同様に、町内の方々との交流を深めることで距離が縮まった感じがします。

また、ペタンク大会では、高齢の方が大変元気にプレーしている姿にビックリしましたが、幅広い世代の皆さんが同じグラウンドで真剣に競い合う大会を初めて観ることができました。

また、これからもイベント行事を通して、たくさんの方々と交流を深めていきたいと考えています。そして、川崎町の魅力を町外の方に知っていただけるよう発信していきたいと思



▲チームメイトが優勝したペタンク大会

眞幡委員長
各町村とも町民に親しまれ、かつ見やすい広報紙づくりを目指し編集しているので、相当レベルアップしていると思いました。

今後は広報アドバイザーなどを町民に委嘱し、町民参加の広報紙づくりが必要ではないかと感じます。

広報アドバイザー 委嘱を

神崎副委員長
冒頭から目を引くビジュアルな紙面づくりに心掛けます。

議員定数に関する委員会の審議経過や活動をピックアップした特集にも取り組むことを決意しました。

ビジュアルと特集化に 力点を



親しまれる広報づくりのため、議会広聴・広報委員会で研修しました。その一部を紹介します。

7月4日

全国広報研修 町村議会広報クリニック

東京都千代田区麹町

町民との距離感を 縮める

佐藤(達)委員
議会には、地方自治の二元代表制を意識した活動が、重要視されています。このことから、町民と議会との距離感をより縮め、町民の関心を集める身近な広報紙として、広報編集をしていきたいと思っています。

見た目を主体に

佐藤(昭)委員
議会広報は、行政側の広報下請けではなく、議員主体の記事づくりがもとめられます。また、チラシのように見た目を主体にレイアウトする必要があります。

町民参加の記事を

高橋委員
町民に直接関係のある記事や予算・決算に対する意見を取り上げた記事づくりを行います。

編集力向上を

大沼委員
町民に親しまれる紙面づくりは、集めた記事から、どのような見出しやレイアウトにするかがポイントです。記事内容を以下に簡潔に表現するかの編集力を身に付けることが必要だと考えさせられた研修となりました。

QRコード採用する

沼田委員
タイトル・見出しで本文を読まなくても大卒で理解できる記事づくりが必要です。HPへ誘導できるQRコードは、当議会でも早急に採用する方向で進めたいものです。

※QRコード：一定量のデータを図形のパターンで表すことができるコードです。携帯電話のアドレス読み取り機能などで用いられています。

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか、また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は9月12日(火)
一般質問は9月13日(水)・14日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は5月会議0人、6月会議17人、7月会議1人、ライブ中継は101アクセスでした。)

詳しくは、
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111
(内線1302)

私たちと意見交換を してみませんか

議会では、広く町民と意見を交換する機会を設けています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



町の風景

富岡小学校「支倉常長まつり」で躍動

撮影 コラボレーター藤原義信さん

町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明「ほら、みて!!」

こども園「仙台市科学館」親子遠足

撮影 コラボレーター佐々木和人さん



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷 株式会社津田印刷